

安 あんじゅ 寿

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

家具調トイレセレクト SPはねあげ (L/H)
家具調トイレセレクト SPはねあげワイド (L/H)

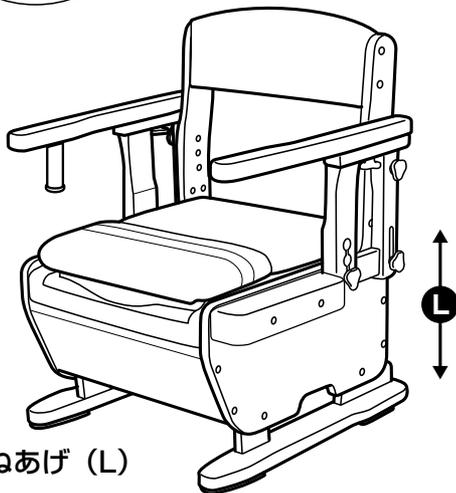
保証書付

共通取扱説明書

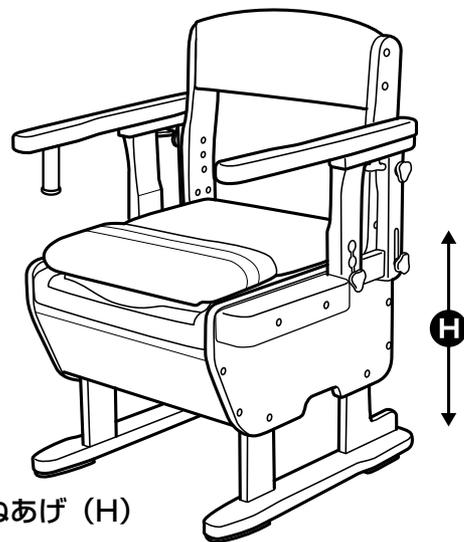
標準便座

- このたびは家具調トイレセレクト SPはねあげ シリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- 正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。
- 取扱説明書(保証書)は大切に保管してください。
- 保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

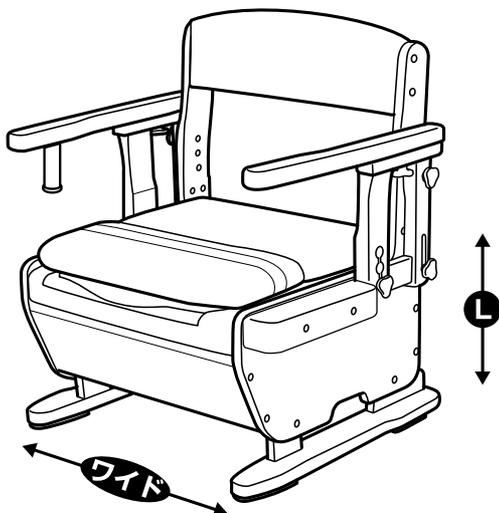
最大使用者体重
100kg以下



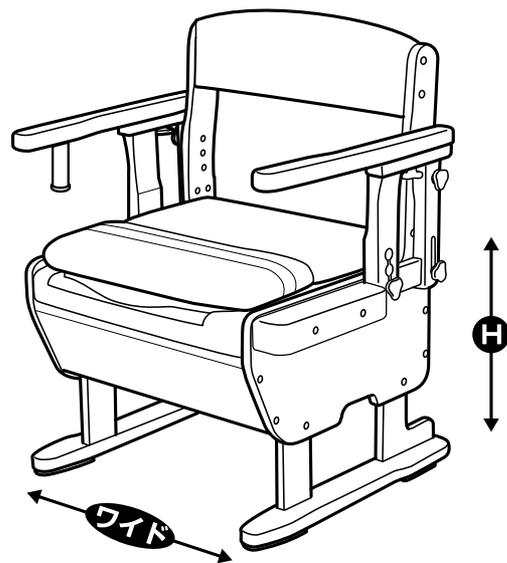
SPはねあげ (L)



SPはねあげ (H)



SPはねあげワイド (L)



SPはねあげワイド (H)

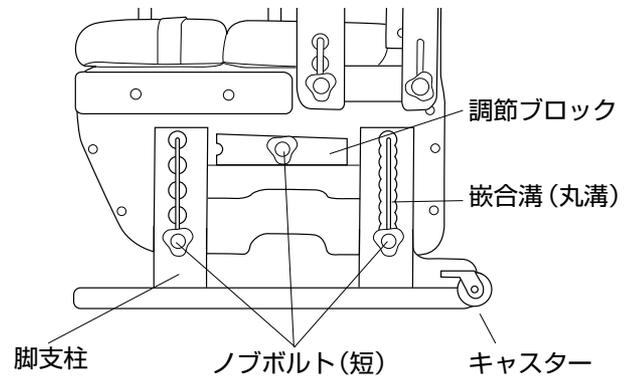
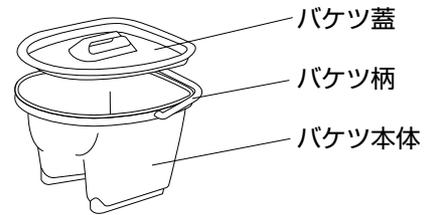
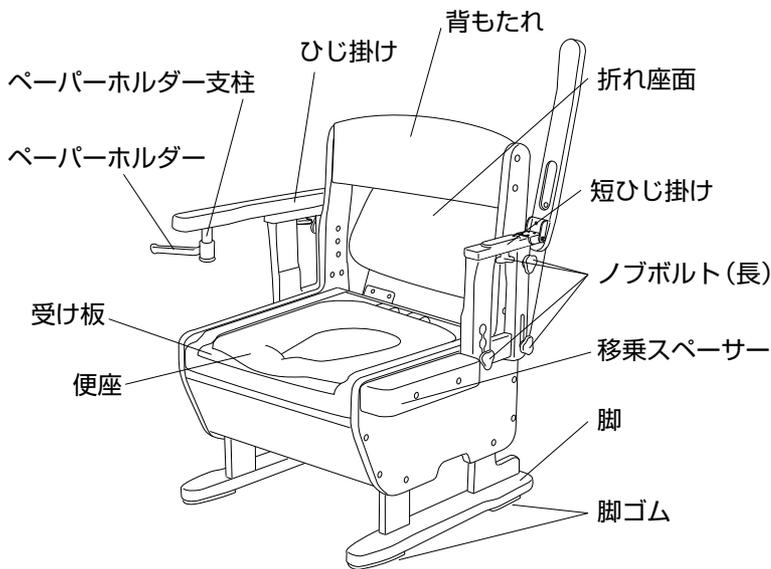
ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

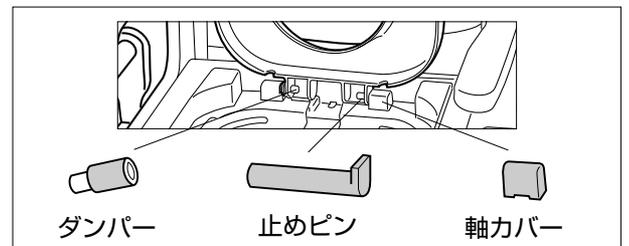
必ずお読みください	各部のなまえ	2~3
	■各部のなまえ／仕様／サイズ	
組み立てかた・使いかた	安全上のご注意	4~6
	■使用前のご注意	
	■組み立て時のご注意	
	■使用中のご注意	
	■お手入れ上のご注意	
困ったとき	組みたてかた	7~11
	①便座高さ（脚の高さ）を調節する ②便座を前下がり（前傾）にして使用する ③ひじ掛けの高さを調節する ④移乗スペーサーを固定する ⑤ペーパーホルダーを取り付ける ⑥ポケットを取り付ける	
	使いかた	12~15
	①ご使用前に ②汚物の処理方法 ③ポケットにバケツの蓋を収納する ④ひじ掛けのはね上げかた ⑤キャスターの使い方 ⑥製品の持ち上げかた -こんな使い方ができます -より快適にご使用いただくために	
お手入れの方法	17	
	①便座のお手入れ方法 ②本体のお手入れ方法	
	保証とアフターサービス	18・19
	■保証書について ■修理を依頼される時 ■保証書 ■お客様相談室	

各部のなまえ

■本体のなまえ

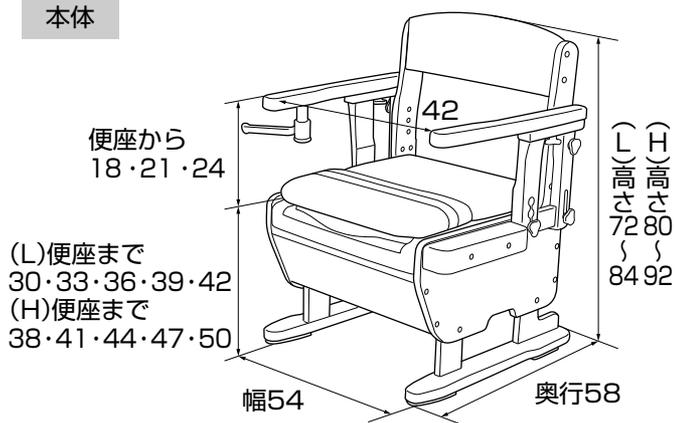


〈便座軸部〉

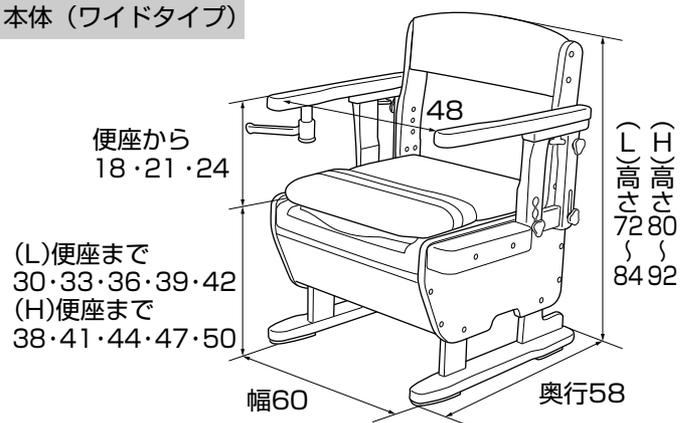


■商品寸法図 (単位cm)

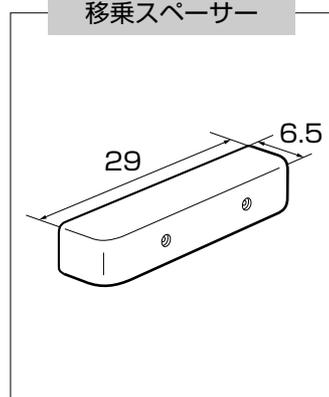
本体



本体 (ワイドタイプ)

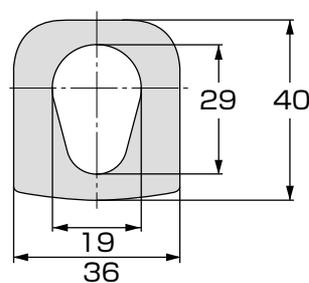


移乗スペーサー



便座

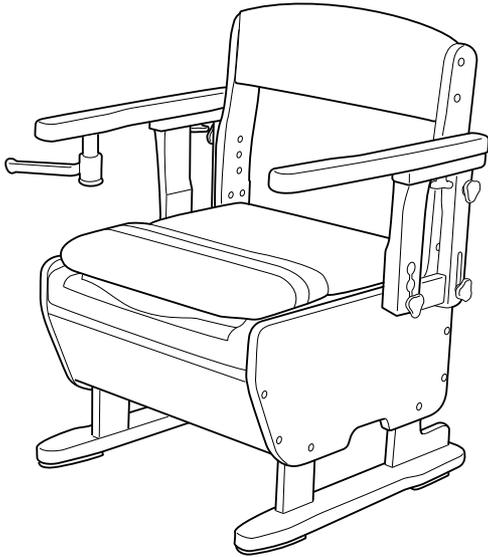
〈標準便座〉



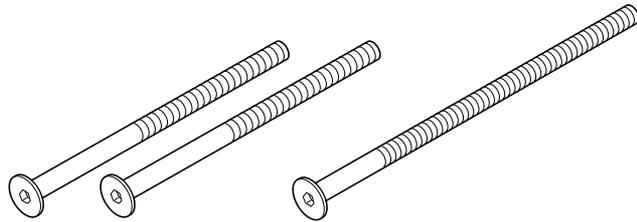
各部のなまえ

■部品一覧

●組み立て前に同梱品をご確認ください。



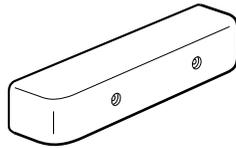
●本体1個
※バケツは本体に取り付けてあります。



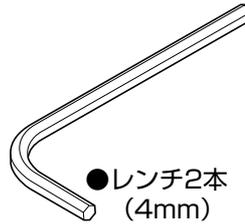
●移乗スペーサー
固定用ボルト2本
(M6×80mm)

●ペーパーホルダー
支柱固定用ボルト1本
(M6×100mm)

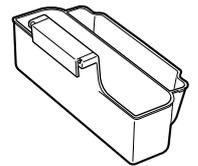
●ペーパーホルダー
支柱1個



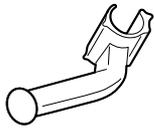
●移乗スペーサー
1個



●レンチ2本
(4mm)



●ポケット (1個)



●ペーパーホルダー
1個

●取扱説明書

●防臭消耗品

●K型便座カバー(2枚)

■仕様

ポータブルトイレ本体					
材質	構造部材	天然木 (ラバーウッド)			
	表面加工	ウレタン塗装			
	張り材	合成皮革 (PVC)			
	クッション材	ウレタンフォーム			
	受け板・バケツ	ポリプロピレン			
便座	標準	ポリプロピレン (抗菌加工)			
バケツ容量	10ℓ				
重量	単位 : kg	SPIはねあげ (L)	SPIはねあげ (H)	SPIはねあげワイド (L)	SPIはねあげワイド (H)
	標準便座	約17.5	約17.8	約19.0	約19.3
商品サイズ	SPIはねあげ (L) : 幅54×奥行58×高さ72~84cm		SPIはねあげワイド (L) : 幅60×奥行58×高さ72~84cm		
	SPIはねあげ (H) : 幅54×奥行58×高さ80~92cm		SPIはねあげワイド (H) : 幅60×奥行58×高さ80~92cm		

廃棄上のご注意

おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

**この製品は、室内で使用する為の「ポータブルトイレ」です。
それ以外の目的での使用はおやめください。**

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。



注意

誤った使いかたをすると「障害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示 (図記号) で区分し、説明しています。



必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容を説明しています。

使用前のご注意 (必ず確認してください。)

正常な状態で使用してください。

正常な状態

移乗スペーサー・トランスファーボードがしっかり固定されていること



ひじ掛けをはね上げて使用しない場合は、ノブボルトで固定しておくこと

ひじ掛け支柱が本体にしっかり固定されていること

左右の脚を同じ高さに設定し、しっかり固定すること

平坦で直射日光に当たらない室内に置かれていること

近くに火気や水気がないこと

※ひじ掛けをはね上げずに使用する場合は、ノブボルトでひじ掛けを固定しておいてください。

※フィッティング (高さの設定など) は、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

警告



絶対にこつならないこと

不安定な場所や、近くに火気や水気がある場所には設置しないこと

- ・浴室など湿気の多い場所
- ・ストーブ等火気が近くにある場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・床が平坦でなく不安定な場所

不安定な場所や近くに火気や水気がある場所に設置すると、火災・変形・変色などが起こり、場合によっては転倒しけがの原因になります。

正常でない状態では使用しないこと

脚、ひじ掛けを取り外しての使用、各部のネジがゆるんでいる状態等、正常でない状態で使用すると、けがの原因になります。



組み立て時のご注意 (必ず確認してください。)



脚の高さ調節時は手をはさまないように注意すること

開梱時は、ボルトがゆるんでいないか確認し、ゆるんでいたらしめなおしてください
輸送時の振動や衝撃により、ノブボルトがゆるんでいる場合があります。

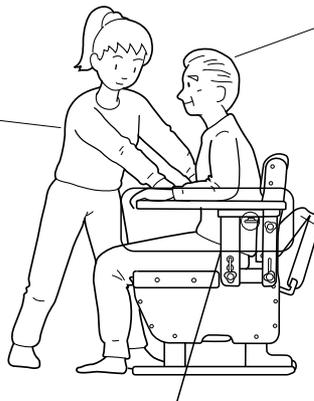
安全上のご注意 (必ずお守りください)

使用中のご注意

安全な使いかたをしてください。

安全な使いかた

使用者が自分自身の身体を十分に安定させられないときは、介助者が付き添うこと



最大使用者体重は100kg以下です。

折れ座面の開閉は必ず持ち手部を持って行うこと
別の部分を持って行うと指をはさむ原因になります。

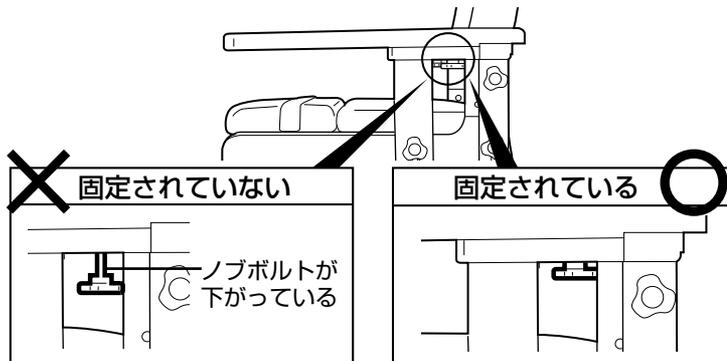
ひじ掛けをはね上げず使用する場合や、ひじ掛けに全体重がかかるような強い力が加わる場合は、ひじ掛けをノブボルトで固定しておくこと
ひじ掛けの破損の原因になります。

以下の動作はひじ掛けに強い力が加わるため、必ずひじ掛けを固定すること

※ひじ掛けを支えに起き上がる時



※ひじ掛けを支えに立ち座りする時



警告

体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損し、転倒やけがの原因になります。

製品に過度な力（背もたれを手すり代わりにする、ひじ掛けの上に腰掛ける、座面の上に立つ等）を加えないこと
本体の破損や転倒、やけがの原因になります。

座面の上に立たないこと
座面を折りたたんだ状態で座面に過度の力をかけないこと
本体が転倒したり、座面が破損し、けがの原因になります。

子供、幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

本体を移動させる時は、物をのせたまま移動させないこと
・人や物を座らせたまま移動させる
・バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させる
等、物を乗せたまま移動させると、故障、けが、服や床を汚す原因になります。

安全な使い方 (必ず実行すること)

絶対にしないこと

安全上のご注意 (必ずお守りください)

使用中のご注意

⚠ 注意

絶対にしないこと

落としたり強い衝撃を加えないこと

強い衝撃を加えたり、硬いものに当てたりすると破損・凹みの原因になります。

キャスターで本体を移動させる場合、無理な段差や凹凸面では行わないこと
製品が破損する原因になります。

ひじ掛け先端を持って、本体を持ち上げないこと
ひじ掛けが破損したり、けがの原因になります。

移乗スペーサーを使用している場合はベッドの高さを変えないこと
移乗スペーサーがベッドのフレームに乗り上げて、転倒やけがの原因になります。

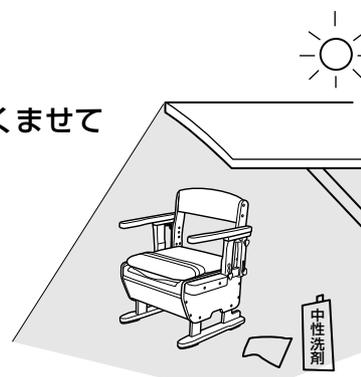
お手入れ上のご注意

正しくお手入れをしてください

正しいお手入れの仕方

スポンジかやわらかい布に住宅用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませて
ふきとってください。

便座・受け板は、本体から取り外すことができます。
快適脱臭タイプの場合、受け板、ダクト部分を分解して
掃除することができます。



※詳しいお手入れ方法は16ページ～「お手入れの方法」をご覧ください。

定期的にボルトがゆるんでないか各部にゆるみやガタツキなど、異常がないか点検すること
本体が不安定となり、けがの原因になります。

各部の調節（高さ調節など）については、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど
専門家に相談すること

⚠ 警告

絶対にしないこと

絶対に分解・修理・改造をしないこと

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

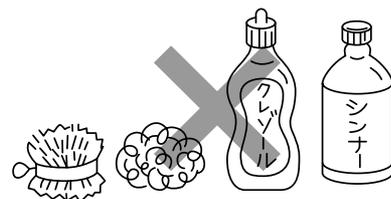
⚠ 注意

絶対にしないこと

直接水をかけて洗わないこと 木部分の劣化・はがれの原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

- ・塩素系洗剤
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・シンナー
- ・クレゾール
- ・その他製品を傷付けるもの
- ・タワシ
- ・研磨剤入りのスポンジ
- ・磨き粉
- ・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒



製品が劣化し、けがの原因になります。

組み立てかた

- ・ご使用される方の体格や症状に合わせて、便座の高さやひじ掛けの高さを調節してください。
- ・便座・ひじ掛けは工具を使わずに高さ調節できます。
- ・便座は水平状態と前傾状態（前下がりに約3°）を選べます。前下がりにすることで立ち上がりが楽になり、さらに前へ尿がこぼれにくくなります。（開梱時は水平の状態に取り付けています）

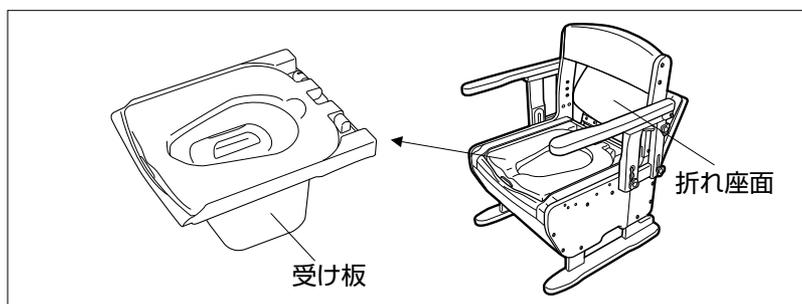
1 便座高さ（脚の高さ）を調節する

●便座高はそれぞれ、以下の高さに調節できます。

L脚	高さ	30・33・36・39・42cm	の3cm間隔、5段階に調節できます。
H脚	高さ	38・41・44・47・50cm	の3cm間隔、5段階に調節できます。

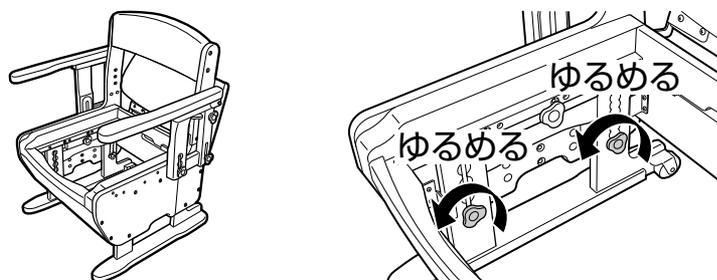
※開梱時は、脚は一番低い位置に取り付けています。（L脚タイプ：30cm、H脚タイプ：38cm）
ご使用になる方の症状や体格に応じて、便座の高さ調節を行ってください。

1. 折れ座面を上げて、
受け板を本体から外してください。



2. 脚の全てのノブボルトをゆるめてください。（右脚側、左脚側両方向う）

※ノブボルトはゆるめるだけ
（取り外さない）でスライドできます。



3. 調節ブロックの位置を、調節したい高さに変えてください。（右側、左側両方向う）

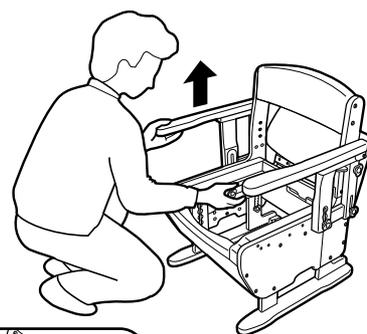
※便座を前傾する場合は、3-①からp.92へ

①ノブボルトをゆるめて調節ブロックを本体から取り外す。

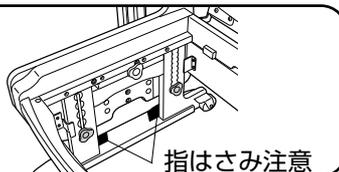


ノブボルトは調節ブロックから取り外さないでください。

調節ブロックを取り外しにくい場合は、
調節ブロックを取り外す方のひじ掛けを
持ち上げて作業してください。

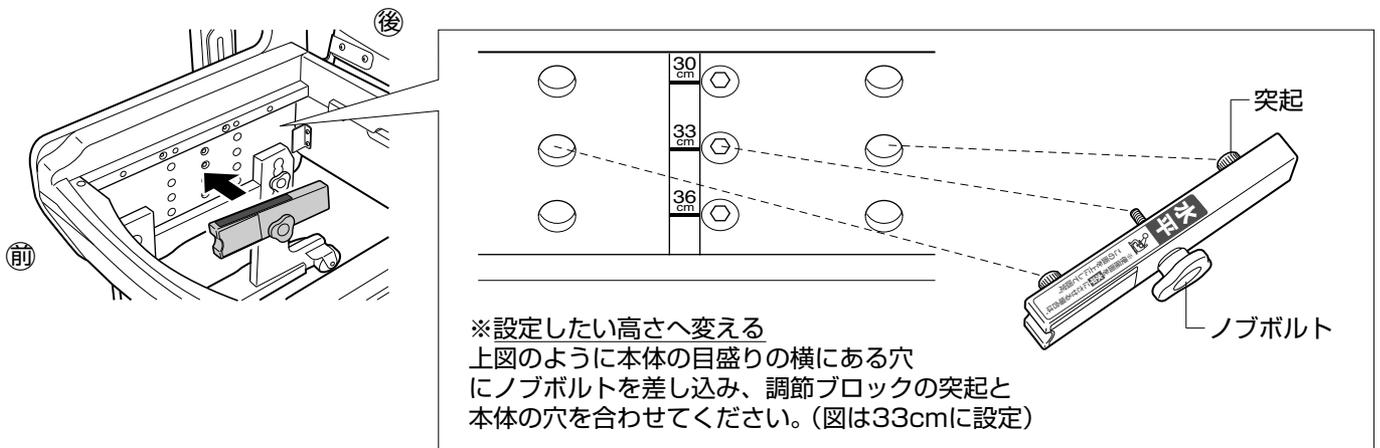


●調節中、右図の指挟み注意の部分で、
手や指をはさまないように注意すること



組み立てかた

②取り外した調節ブロックの中央のノブボルトを本体の目盛りに合わせて差し込む。



注意

●調節ブロックの切欠きの向きを、左右同じ向きに合わせる

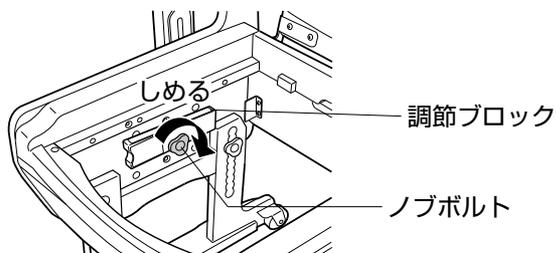
切欠きの向きが異なっているのは座面角度の設定が左右異っている状態（片方が前傾・片方が水平）です。
角度が左右異なっていると、脚がしっかり固定できず製品の破損につながります。

開梱時は水平(下図)の状態
取り付けています。

青いシールが見える(左右)



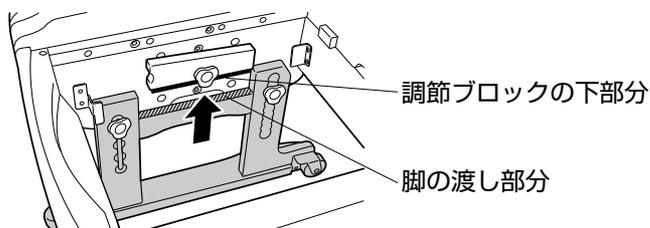
③ノブボルトをしめて調節ブロックを本体へ固定する。



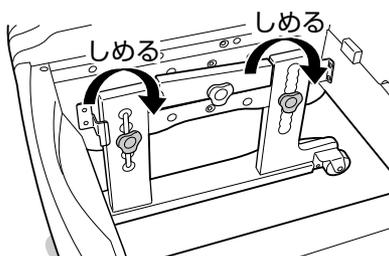
4. 脚を調節ブロックまでスライドさせ、脚の全てのノブボルトをしめつけて固定してください。(左右)

※下図のように、脚の渡し部分と調節ブロックの下部分が接する状態で、ノブボルトを脚支柱の丸溝に入れてしめ込んでください。

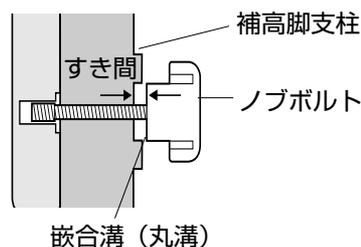
①脚を調節ブロックに接するまでスライドさせる。



②脚のノブボルトをしめる。



ノブボルトと嵌合溝(丸溝)にすき間がないように、しめ込んでください。



組み立てかた



注意

●脚の渡し部分と調節ブロックの下部は、必ず接する状態で固定すること

製品の破損につながります

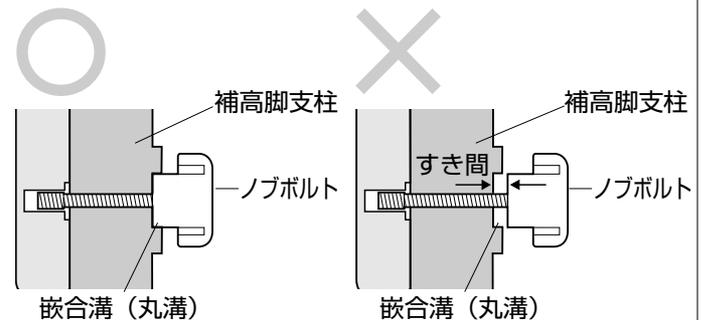
●左右の脚を同じ高さ・角度に設定し、しっかり固定すること

脚が外れ、転倒やけがの原因になります。

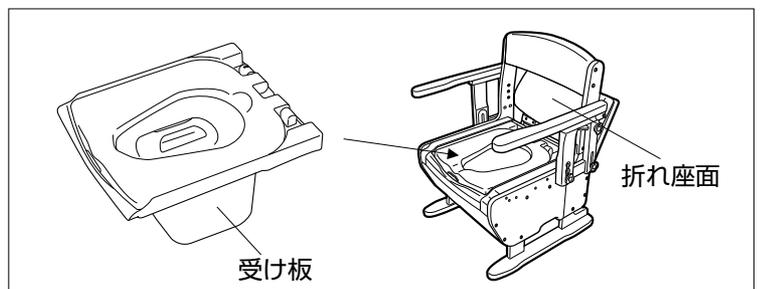
●脚支柱側のノブボルトを固定するときは、必ず嵌合溝（丸溝）の奥までノブボルトを差し込んでしっかりしめ付けること

使用中に脚が下がり、転倒やけがの原因になります。

ノブボルトと嵌合溝（丸溝）にすき間がないようにしめ込んでください。

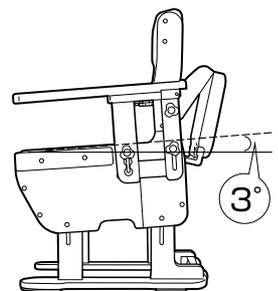


5. 最後に受け板を本体にセットしてください。



2 便座を前下がり（前傾）にして使用する

便座を前下がりにすると、排泄のしやすい前傾姿勢が取りやすくなります。また、尿が少し下方向に出るので、前方への飛び散りを減らすことができます。



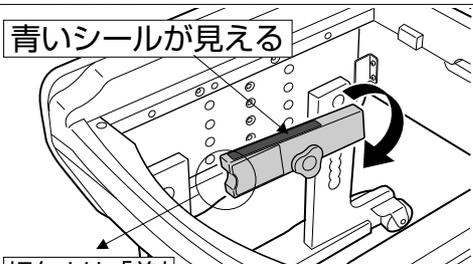
調節方法

p.7の3-①で取り外した調節ブロックを上下反転させて本体に取り付け、調節ブロックに合わせて脚をスライドさせて固定します。

水平（開梱時は水平に設定しています）

青いシールが見える

切欠きは「前」

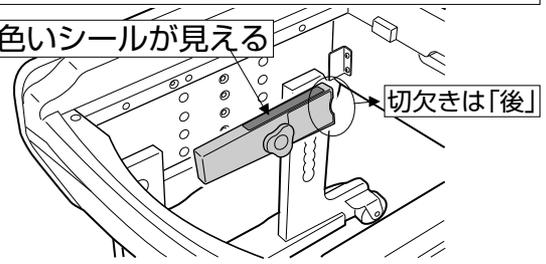


※調節ブロックは左右とも「切欠きが前側＝青いシールが見える状態」にしてください。

前傾

黄色いシールが見える

切欠きは「後」



※調節ブロックは左右とも「切欠きが後ろ側＝黄色いシールが見える状態」にしてください。



注意

●調節ブロック上面のシールの色は、左右必ずそろえること

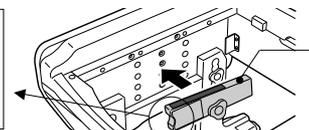
●調節ブロック側面の切欠きの向きは、左右必ずそろえること

片方は前傾・片方は水平の状態だと、脚をしっかり固定できず製品の破損につながります。

正しい状態

左右とも
同じ向き

左右とも
同じ色の
シール



組み立てかた

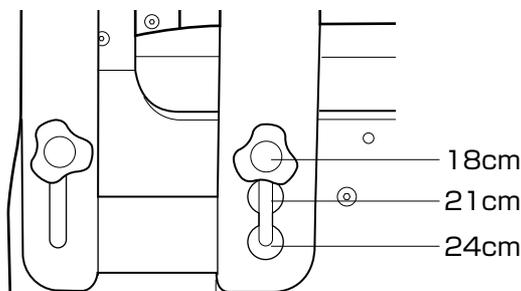
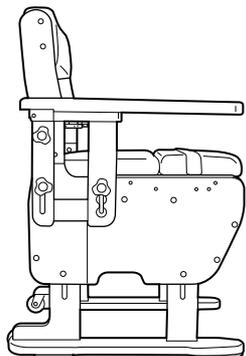
3

ひじ掛けの高さを調節する

●ひじ掛けの高さは、3段階（便座から18・21・24cm）に調節できます。

※開梱時は、ひじ掛け高さは18cmに設定されています。

ご使用になる方の症状や体格に応じて、ひじ掛けの高さ調節を行ってください。

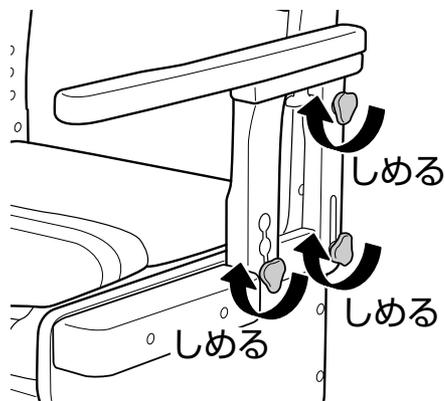
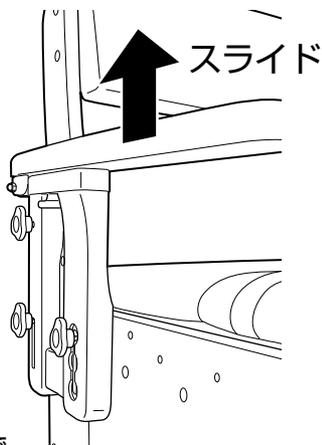
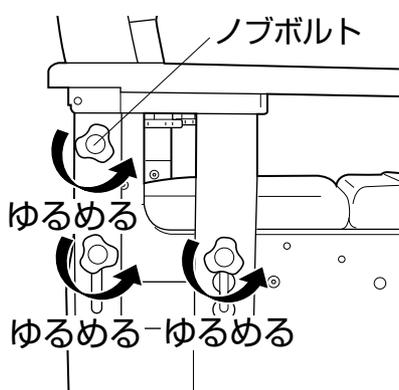


1. ひじ掛けのノブボルトをゆるめてひじ掛けをスライドし、調節したい高さに合わせてノブボルトをしめてください。

①下図のノブボルトをゆるめる

②ひじ掛けをスライドさせる

③下図のノブボルトをしめる



※ノブボルトはひじ掛けに取り付けたままでスライドできます



注意

●ひじ掛けはノブボルトで確実に固定すること

●ひじ掛けを取り外して使用しないこと

ひじ掛けや背もたれが外れ、けがの原因になります。



4

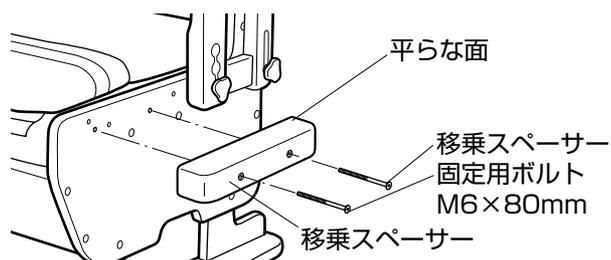
移乗スペーサーを固定する

●移乗スペーサーはベッドとのすき間を埋めるものです。本体の片側に移乗スペーサーを取り付けることができ、より安心して移乗できます。

●ベッドから乗り移る側に移乗スペーサーを取り付けてください。

ベッドの位置に合わせて、取り付け位置を左右から選択し、本体側面のねじ穴に移乗スペーサー固定用ボルト（2本）で取り付けます。

移乗スペーサーの平らな面が上になるように取り付けます。



組み立てかた

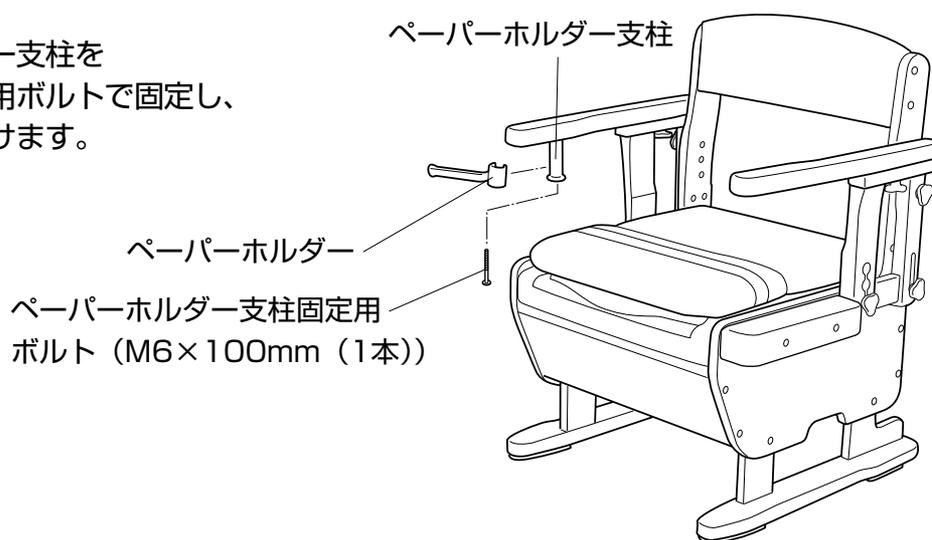


- 移乗スペーサーは、付属の固定ボルトでしっかり取り付けること
固定ボルトがゆるんでガタついた状態で使用すると、製品が破損し、けがや転倒の危険があります。

5

ペーパーホルダーを取り付ける

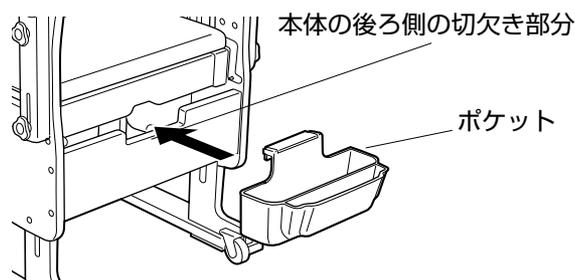
ひじ掛けにペーパーホルダー支柱を
ペーパーホルダー支柱固定用ボルトで固定し、
ペーパーホルダーを取り付けます。



6

ポケットを取り付ける

ポケットは本体の後ろ側に取り付けることができます。
本体の後ろ側の切欠き部分に取り付けてください。



使いかた

1

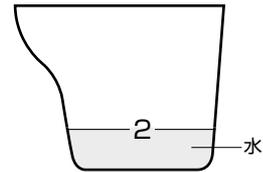
ご使用の前に

●本製品には、防臭消耗品が入っております。ご活用いただき、快適にお使いください。

1. バケツに水を入れる

バケツに約2リットルの水（バケツ内側の2と表示のある線まで）を入れ、付属の防臭消耗品を入れてください。

※バケツに水が入っていない場合、防臭効果が減少します。



2. バケツを本体にセットし、折れ座面を開けて便座を上げ、バケツの蓋を外してご使用ください。

※バケツ内へは、ティッシュペーパーなど、トイレットペーパー以外のものは入れないこと。トイレで処理する際、詰まる原因になります。

2

汚物の処理方法

使用後はポータブルトイレ本体からバケツを取りだして、汚物をトイレに流してください。

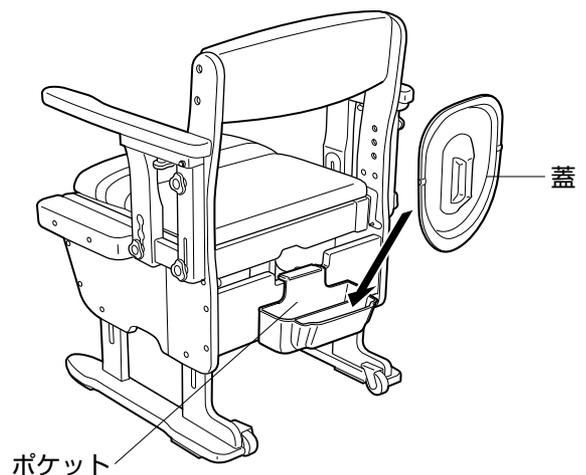
※防臭アイテムも流せます。



3

ポケットにバケツの蓋を収納する

バケツの蓋の上面が手前に向いた状態で、蓋の先端を下にしてポケット外側の収納場所に差し込んでください。



使いかた

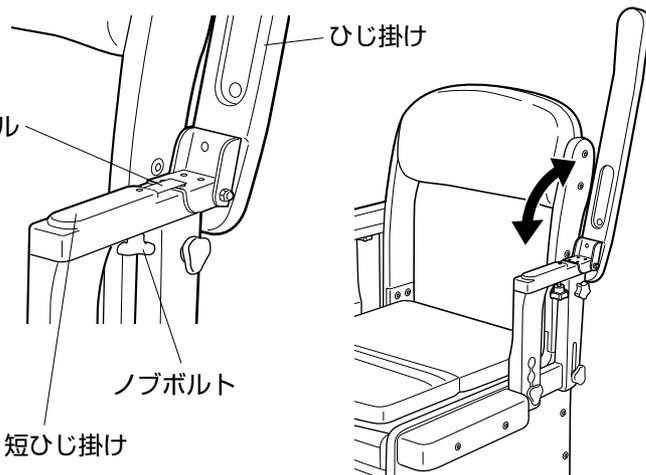
4

ひじ掛けのはね上げかた

●開梱時は、ノブボルトをしめ付けてひじ掛けが動かない状態になっています。

ひじ掛け下のノブボルトをゆるめて、ひじ掛けを上げ下げして使用してください。

指はさみ注意シール

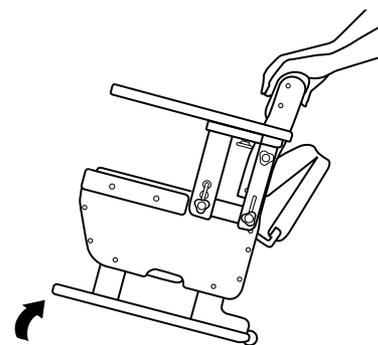


- ひじ掛けを下げる場合、ひじ掛けと短ひじ掛けの間で手や指をはさまないように注意すること
- ひじ掛けをはね上げない場合は、ノブボルトを締めて固定すること

5

キャスターの使いかた

- ポータブルトイレを移動させるときはキャスターをご使用ください。
※ひじ掛けを持って移動させる場合は、ひじ掛けがロックされているか確認してください。
- ※移動の際、バケツの中身がこぼれないようご注意ください。



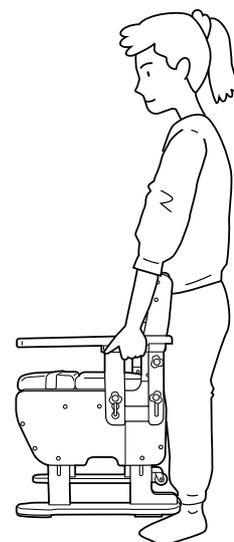
6

製品の持ち上げかた

- 段差などでキャスターが使えず製品を持ち上げる場合は、図のように持ち上げてください。



- ひじ掛けの先端を持って持ち上げないこと
- 持ち上げるときは、ノブボルトを必ず締めて固定すること
ひじ掛けが破損し、落下してけがをする恐れがあります。

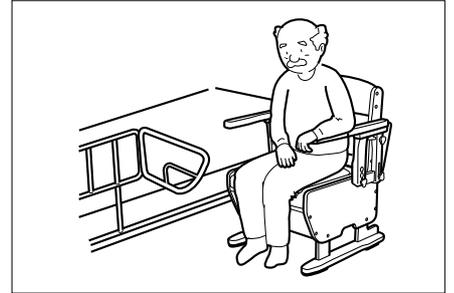
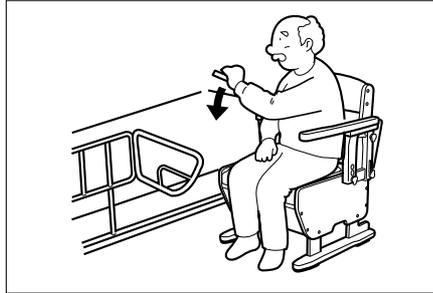
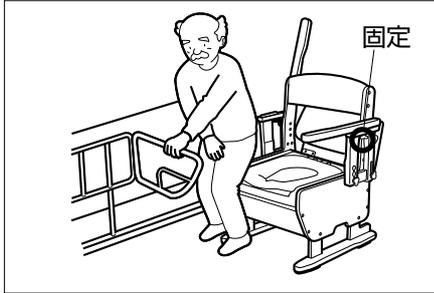


使いかた

こんな使い方ができます

●立ち上がって移乗ができる場合

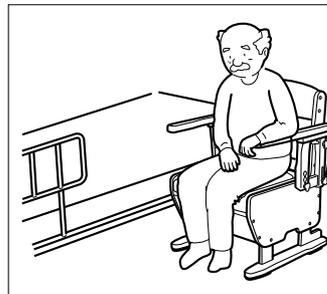
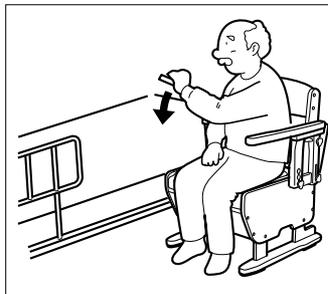
ひじ掛けをはね上げた状態でベッドの移動用バーを持ちながら立ち上がって移乗し、便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。



●立ち上がれないが座位置移乗ができる場合

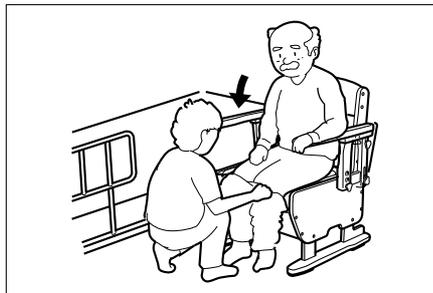
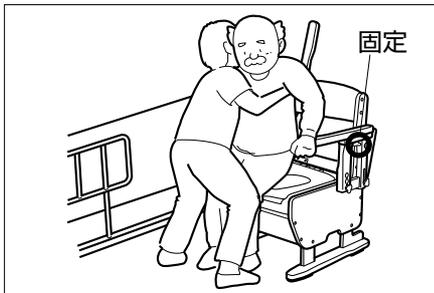
ひじ掛けをはね上げた状態で短ひじ掛けを持って身体を引き寄せながらトイレに移乗し、便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。

短ひじを持って体をポータブル トイレへ引き寄せる
移乗後はひじ掛けを一番下まで降ろす



●介助される方が補助して移乗させる場合

ひじ掛けをはね上げた状態で身体を支えてトイレに移乗させ、ひじ掛けを下ろして使用できます。



ひじ掛けをはね上げずに使用する場合や、ひじ掛けに全体重がかかるような強い力が加わる場合は、ひじ掛けをノブボルトで固定しておくこと
ひじ掛けの破損の原因になります。

以下の動作はひじ掛けに強い力が加わるため、必ずひじ掛けを固定すること

※ひじ掛けを支えに起き上がる時



※ひじ掛けを支えに立ち座りするとき

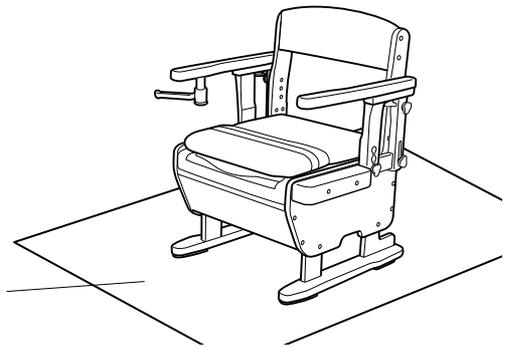
注意



使いかた

より快適にご使用いただくために

便座に座る前に用便されてしまう場合もあります。
「両面すべり止め付き消臭・防水マット」(別売品)
「ポータブルトイレ用消臭・防水シート」(別売品)
を敷いておくと、より快適にお使いいただけます。



消臭・防水シート/マット

※付属の防臭アイテムのほかにも、様々な防臭アイテムをご使用いただけます。(別売品)

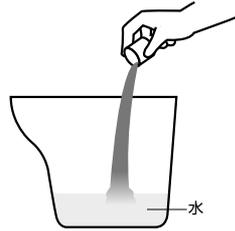
- 消臭剤フォームタイプ
- ポータブルトイレ用防臭剤22
- ポータブルトイレ防臭液
- ポータブルトイレ・尿器用防臭錠
- 消臭シート



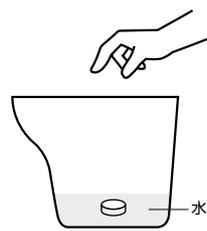
水の表面を泡が覆い、防臭効果を長時間持続します。



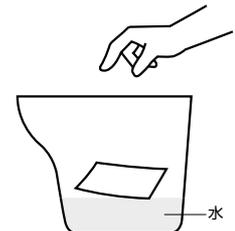
取り扱いやすい粉末状タイプです。



水に溶けやすい液状タイプです。



1錠入れるだけの錠剤タイプです。



水に入れるとサッと溶けるシート状タイプです。

いつまでも気持ちよくお使いいただくために。

お手入れの方法
保証とアフターサービス
保証書

お手入れの方法

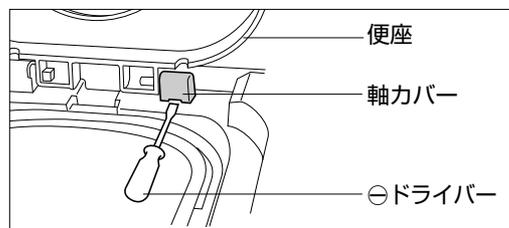
1

便座のお手入れ方法

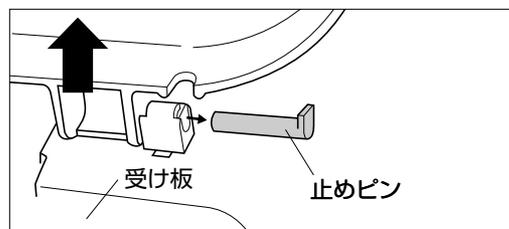
●便座は、お手入れや便座の取りかえを行うときに本体から取り外すことができます。

受け板から便座を取り外す方法

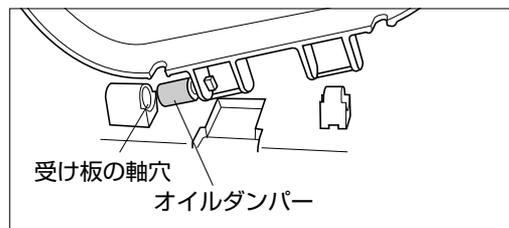
- ①折れ座面を開け、便座を上げてください。
- ②軸カバーの溝に⊖ドライバー等を入れ、上に引き上げてください。



- ③止めピンを抜き、便座を上げて外してください。



- ④最後に受け板の軸穴からオイルダンパーを抜き、便座を分解してください。



※組立てる場合は、④から逆の手順で行ってください。

2

本体のお手入れ方法

いつものお手入れは

家具調トイレは木部に臭いが染みこむととれにくくなります。

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小まめに汚れを落としてください。

汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。



注意

●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと

木部の塗装がはがれたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



少しひどい汚れは

便座・受け板は、本体から取り外し、水洗いをすることができます。受け板から便座を取り外す時は、「便座のお手入れ方法」の手順に従い取り外してください。

保証とアフターサービス よくお読みください

■保証書

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店にご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。